

独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所
令和3年度 第2回研究倫理審査委員会(安全分野) 議事要旨

開催日時:2022年2月18日(金)13時00分～15時00分

開催場所:オンラインでの開催

事務局:労働安全衛生総合研究所(清瀬地区)機械安全システム実験棟2階会議室

出席者:酒井一博委員長、松原健一委員、櫻井忠義委員(以上、外部委員)、日野泰道委員、八島正明委員(以上内部委員)

オブザーバー:梅崎重夫所長

事務局:清水尚憲、高橋明子(筆責)

1. 開会挨拶

2. 利益相反6件の確認結果の報告

委員長と事務局により、利益相反申請案件6件(受付番号 R3-B4:「建設現場における建設工事従事者を対象とする新たな安全衛生確保のための制度構築に資する研究(平岡伸隆)」、受付番号 R3-B5:「建設工事における安全衛生の確保のための設計段階の措置の確立に向けた研究(吉川直孝)」、受付番号 R3-B6:「法学的視点からみた社会経済情勢の変化に対応する労働安全衛生法体系に係る調査研究(吉川直孝)」、受付番号 R3-B7:「墜落による危険を防止するためのネットの経年劣化等を含めた安全基準の作成に資する研究(日野泰道)」、受付番号 R3-B8:「作業経験の異なる建設作業者のリスク回避の認知過程に関する特性分析とリスク回避行動促進のための支援デバイスの検討(高橋明子)」、受付番号 R3-B9:「国際的な防爆規制に対する整合性確保のための調査研究(大塚輝人)」)について、「利益相反の審査と管理に該当しない」ことを申請したものであることを確認し、異議はなかった。

3. 迅速審査3件の審査結果の承認

今年度実施した迅速審査3件(受付番号 R3-安5:「突発的な反動・外力変化を伴う作業時の姿勢安定性評価(菅間敦)」、受付番号 R3-安6:「視覚教材のメディア形態と提示装置がハザード知覚訓練の効果の及ぼす影響(高橋明子)」、受付番号 R3-安7:「足こすり動作による簡易すべり官能評価手法に関する研究(柴田圭)」)の研究概要と審査結果について説明し、3件ともに「条件付きで承認」されたことを報告して、異議なく承認された。

4. 新規申請1件の審査

新規申請が1件あり、審査を行った。その結果、「条件付き承認」となった。

受付番号 R3-安8:「Mixed-Realityによる高所作業環境下での生体反応測定(菅間敦)」

申請内容について下記の通り審査結果がまとめられ、以下の指摘に対応するという条件付きで、全員一致で本申請を承認することとなった。

(1) I-1:男性の被験者に絞ることを追記すること。

(2) I-2:「I.研究の概略」について、最新のヘッドマウントディスプレイを導入することに至るまでのこの分野の状況を追記すること。

- (3) I-4: 実験環境の中に、CO₂濃度モニタリングを追記すること。
- (4) II-3、4: 「II. 研究対象者に生じる負担及び侵襲並びに予測されるリスク及び利益」について、II-3 の VR 酔い、転倒、軽度の筋負担、実験中の体調不良、感染症の 5 項目を挙げているが、他の項目（例えば、換気の方法、休憩の姿勢・体勢、安全の面から年齢の制限、フォースプレートの高さ等、安全、健康に関すること（倫理に関すること））についても、必要のあるものは記入をすること。
- (5) II-4:1 試行につき休憩 30 秒と記載している箇所を 1 分に修正すること。

5. 委員長総括

酒井委員長が総括を行った。

以上